

なるほど!



# 世界大恐竜展

それは忘れもしない1997年の3月20日。私は名古屋で恐竜特別展開会式の会場入り口にいた。この特別展に、当時私が参加していた林原一・モンゴル共同調査隊が発掘した化石が展示されるからである。その場にはモンゴルのバースポルド博士、中国のドン・チミン博士、福井県の東洋一博士も居合わせていた。

開会式まで暇を持て余しているわれわれを見たドン博士が、報道関係者に聞こえないように私たち研究者を呼び集めた。「実は…とニコニコしながら写真を一枚取り出し、私たちに見せた。小さな恐竜の全身骨格の写真。しかし、なんと、背中から尾にかけてびっしりと羽毛が生えていた。「えっ」。私たちは無言で、しかも真剣に顔を見合わせた。「なんだこれは!」。それは後に羽毛恐竜発見の先駆けとして有名になったシノサウロプテリクスの写真だったのである。その時の衝撃は今

## ④ 羽毛恐竜の衝撃

### 今や「鳥は恐竜の仲間」



でもよく覚えている。その後、中国からは「羽毛恐竜」が続々と報告され、恐竜と鳥の関係に関する常識を大きく変えた。今や「鳥は恐竜の仲間だ」が常識である。さて今回の大恐竜展に、これら一連の羽毛恐竜化石と、始祖鳥やデイノニクス骨格が展示されている。この機会に鳥が恐竜であることを確かめる行きませんか? 毎日食べらる恐竜の卵や恐竜唐揚げの味が奥深く感じられるかも!?

(石垣忍・岡山理科大教授) 随時掲載

会場に展示された羽毛恐竜アンキオルニスの生体復元模型。化石に残った色素から黒っぽい羽の色も判明している

「よみがえる地球の覇者! 世界大恐竜展」(山陽新聞社など主催)は9月1日まで岡山市北区駅元町、岡山シティミュージアムで開催。8月5、19日休館。